

特定非営利活動法人
発行 くまがや小麦の会
発行責任者 日向美津江
ホームページアドレス
<http://www.kumagayakomuginokai.jp/>
くまがや小麦の会 検索

NPO 法人
くまがや小麦の会
since 2006
事務局 〒360-0801 埼玉県熊谷市中央1797-1
TEL.048-521-0026

大自然と宗教的情操の調和

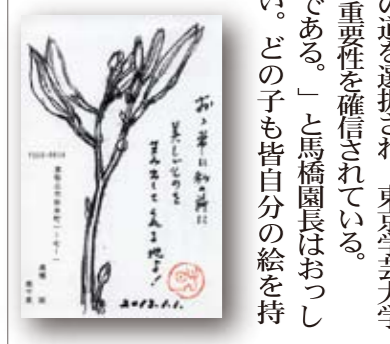
Interview シリーズ No.7

馬橋園長先生は東松山ご出身で、一時は画家を志したお年賀状にニッコウキスゲのスケッチが、描かれていた。大学進学に当たり、教員の道を選択され、東京学芸大学に進まれた。特に幼児教育の重要性を確信されている。子供は全て小説家、画家である。」と馬橋園長はおっしゃっている。一人一人の良さを理解できないと幼児教育はできない。美術教師としての感動を子供たちに伝える。続けられた。

◆立正幼稚園父母の会OG
新年になり立正幼稚園馬橋園長先生の取材に、立正幼稚園父母の会OGの二人で伺った。子供達が通い、今は孫達が通っている。くまがや小麦の会委員は立正幼稚園父母の会出身者が多い。熊谷の大橋を渡り、立正大学の道路を挟んで合い向かい8050mの敷地にゆったり園舎が点在している。丘陵地で雑木林が斬新な建物を包んでいる。

学校法人熊谷立正学園 立正幼稚園 園長 馬橋 旭 先生

■ 学歴 S36.3 東京学芸大学卒	■ 公職 S58.5より 東松山美術協会会長 H22.1より 平成美術会会長
■ 職歴 S36.4 吉見町立吉見小学校勤務 S37.4 東松山市律松山中学校勤務 S44.4 吉見町立吉見中学校勤務 S51.4 学校法人松山聖ルカ幼稚園園長 H16.4 学校法人熊谷立正学園 立正幼稚園園長	■ 表彰 H11.11 県文化ともしび賞 H21.11 埼玉県教育委員会教育長表彰 H22.11 埼玉県知事表彰 H23.11 文部科学大臣表彰



立正幼稚園40周年を迎えて

学校法人熊谷立正学園 理事長 及川周介先生

昭和46年立正大学が熊谷校舎教養部を開設して5年目のこと、保育専門学校を立ち上げました。保育専門学校では、保育園・幼稚園の教員資格を学生に取るには実習園の施設が必要でありました。当時の立正大学学園経営には非常に困難な時期があり、当時の学園理事長及川真学師は学園での実習幼稚園建設確保は無理と判断し、及川真学師が住職をしておりました新宿の常圓寺の深いご理解を頂き、土地・園舎の費用を出資して宗教情操教育の場と大学の学生実習の場である幼稚園設立を目的として設立されました。この方針に基づき、私は立正大学の職員を辞め、埼玉県庁学事課へ学校法人設置許可をとるために日参りし、幼あつて翌、昭和47年に「学校法人 熊谷立正学園」「立正大学付属立正幼稚園」として開園いたしました。私達一家は園舎内に起居をともした生活が始まりました。春には新緑に囲まれ、夏には多数のカブト虫の出現、秋には紅葉と落葉掃き、冬には凍っていた園庭等々、全て自然の中で生活でした。初代埼玉大学教授 井出達郎先生から熊谷高等学校の岩田巳代治先生、星子郁子先生等の園長のもと教職員の熱意ある努力に守られ、教育の実を上げてまいりました。

現在は馬橋旭園長先生の元、理事長・父母会・教職員一体となって受け継がれております。40年も経ちますとご承知の通り親子二代目の世代が入園されています。最近の入園式にはご自慢のお子さんを連れて、ご自身が卒業された古巣の幼稚園へ来られる人が多くなりました。そのご両親のお顔は先生達とお陰さまで」との言葉で「信頼」による絆が交換されています。立正幼稚園の教育理念が、そのまま立派に具現され受け継がれようとしています。大きな自然に囲まれ、園舎も新しくなり、園地も倍に広がりどこを見ても埼玉県に誇れる幼稚園に成長いたしました。どうかご父母の皆さま、又関係各位におかれましては、変わらぬご理解とご協力を頂きたくお願い申し上げます。40周年を機会として、新たな出発のご挨拶とさせていただきます。

◆三年生までは夢の中
幼児期は絵を描いても、遠近法より自分の感動が先、感動したものを大きく描く。小学校三年生までは子供は柔らかな夢の中。四年生からリアルな目を持つようになる。五年生で遠近法が判る。幼児期の天才を埋もれさせては指導者の罪である。と厳しい意見で子供の可能性と向かい合っている。幼児教育の教師こそ広い教養を身に付ける必要があると強調された。幼児を包む環境は音楽にして良い音楽に触れさせるだけで、動きだし創造の世界を繰り広げる。

◆初めての社会生活
親から離れて初めて集団生活を行う場、先生が感性を持ち幼児に接する。幼児教育の根拠は『教師がこの子をどのように育てたい』と思うところにある。と四十年に渡り幼児教育一筋に歩まれた馬橋園長の思想、子供とともに居ることを信念とされている。

◆創造力の増進は褒められること
子供達は自分の持っているものを褒められて、意欲を持ち創造力を増してゆく。子供の素晴らしいところを発見する事が教師の役目であり、子供を伸ばす事に繋がる。美術指導は子供の面白さに感動して、それを子供に伝える事、そうすれば自然に子供の創造力は増してゆく。

◆創造力の増進は褒められること
子供達は自分の持っているものを褒められて、意欲を持ち創造力を増してゆく。子供の素晴らしいところを発見する事が教師の役目であり、子供を伸ばす事に繋がる。美術指導は子供の面白さに感動して、それを子供に伝える事、そうすれば自然に子供の創造力は増してゆく。

◆初めての社会生活
親から離れて初めて集団生活を行う場、先生が感性を持ち幼児に接する。幼児教育の根拠は『教師がこの子をどのように育てたい』と思うところにある。と四十年に渡り幼児教育一筋に歩まれた馬橋園長の思想、子供とともに居ることを信念とされている。

◆麦笛「脱皮」
毎年元旦に我が家を訪ねてくれる家族がいる。五歳の巳年、実家の家系が比較的短命だった為、兄は家系の低レベル長寿記録更新中である。この兄は我が家の系、これまた低レベルな話だが、六ヶ月経つと全く判らない言葉もマスターしてきた。会社を退いてからアテネ・フランスのスペイン語に通って二年は経っている。その兄がこの元旦「スペイン語はダメだ。頭がつかぬに言いた。現地の方が早い」と悔しそうに言った。スペインに旅立つの心配した。

縁あって気仙沼に伺っているが行政指導の復興はまだ時間がかかりそう。東日本大震災の二度目の新年を仮設住宅で迎えられている。混沌とした中から学んだことは、人と人との繋がりが、共助の大切さを再認識した。日本人の持つ利他の精神があった。東日本の方々は「大丈夫。大丈夫。」と言う。大丈夫でんかない状態でも自分より周りのもつと大変な方がいると気づく。未曾有の災害時日本人はモラルを維持していた。復興を少しでも早めた。

前例、しがらみの枠組みを「脱皮」して、成長、活性化できる枠組みに組み替えてゆくことが夫々が関係する部署で動き出せたら、復興にも繋がる。又、前例にない事を言い出した者がいたら、耳を傾けてみようではありませぬか。それから判断しても遅くはない。前例には進歩はない。前例に頼ることからは世の中が今、自信を無くしているからとも考えられる。日本人の良さを持つことも難し。日本人の良さを日本として日本人としての自信を取り戻したい。

実兄のスペイン語学習に敬意を込め、インド独立の父、マハトマ・ガンジーの言葉を書いて本年最初の「麦笛」とした。

『明日死ぬつもりで、生きなさい。永遠に生きるつもりで、学びなさい。』

小麦の会活動報告

▼10/28(日) 第6回こうなん祭り 江南総合文化会館ビピア駐車場
当会副会長の柴征一郎さんのご縁で毎年参加させていただいております。今回は朝からあいにくの雨模様で大変心配しましたが、地元をはじめ、大勢の皆さんの地域愛のお陰で大盛況でした。ありがとうございました。このお祭りではBBB25(食パン)を新発売致しました。地粉の風味が醸し出され、とても美味しく、皆様の食卓に親しまれる味に仕上がりました。是非ご賞味下さい。(T・Y)

▼10/28(日) 第5回ニャオざね祭り 妻沼さくら公園
雨模様のお天気で人出はまばらでしたが、ニャオざね祭りは市民活動の発表の場。参加団体同士の交流も盛んで、他団体の方に沢山お買い上げいただきました。出店ブースがステージ横だったため、販売しながら催し物やよさこい演奏など楽しめました。(R)

▼11/17(土) 11/18(日) 第8回熊谷市産業祭 熊谷スポーツ文化公園
天候に左右される産業祭ですが、どうにか雨にも降られず、今回も大盛況に終わりました。初めて店頭にお目見えしたプチシフォンは、お値段も手ごろで可愛いと大好評の内に即完売。熊谷の地粉で作った「あつべえ焼きそば」も勿論完売。ただ実演販売のお店が多く、熱々の湯気と美味しい匂いのするお店は長蛇の列。来年は、実演販売を計画しています。(K・Y)

▼11/24(土) 雀幸園焼きそば講習会 雀幸園
平成24年11月24日、雀幸園で開催された「焼きそば講習会」に参加させていただきました。2歳から高校生の子供たち、職員の方々とおやつの焼きそばを作りました。子供たちは、麺を袋から出す人、出来上がった計量し、青のりをかける人、紅ショウガをのせる人等それぞれ役割分担し、協力しながら、1回に20人分、合計80人分の焼きそばを作りました。最初は恥ずかしそうに部屋の隅にいた高校生も加わり、和気あいあいとした雰囲気、子供たちはみな生き生きとした表情をしていました。盛り付けが終わると、全員で会食。あかりする子供もいて、大満足だったようです。帰り際に、一人の男の子がそばに駆け寄り、大きな声で「ごちそうさまでした！」と一言。この一言に今回の講習会開催の意義が詰ま込込れている気がしました。(M)

▼11/20(火) 11/26(月) 手づくりカスター講習会 平松研究室
11月20日、26日の両日カスター講習会を行いました。新聞紙を使ったの型作りから始まり、自宅にある物でひたすら混ぜるだけの簡単レシピで、後はオープンにお任せ。おしゃべりや試食をして、皆さん楽しく参加して下さいました。(M・K)

▼12/1(土) 熊商販売実習で小麦の会製品を販売 熊谷駅コンコース
12月1日、熊谷駅コンコースにて行われた熊商販売実習は、プチシフォンケーキが大好評でした。寒い中、生徒の皆さんが元気な声で接客したかっこが、売上げも好調! 次回も頑張ってください。(M・T)

▼1/18(金) わーくほーむ結 成人式 わーくほーむ結
熊谷市内の生活介護事業わーくほーむ結(社会福祉法人つゆくさ)で、成人を迎えた関根さんと松本恵美さんを祝う会に、NPO法人くまがや小麦の会(日向美津江会長)の面々が駆けつけた。家庭用オープンとプロパンガス、パウンドケーキ50人分の材料を持参し、利用者(19歳~37歳までの知的障がい者)とともにくまがや小麦の会オリジナルの熊谷産小麦あやひかりと高級ブランデーに漬け込んだドライフルーツをふんだんに使った「パウンドフォーパウンド」を焼き上げた。この日は「わーくほーむ江南」の利用者も加わり、オープンの中で膨らむケーキの様子と香ばしい匂いに利用者は大喜び。「五感に訴えるようなケーキ作りがみなさんにとって新鮮なんでしょうね」と日向会長。
くまがや小麦の会は、地元主婦らが添加物や防腐剤を使わない安心で美味しいパウンドケーキやクッキー作りを担当し市内各地で販売しているが、その配達を就労移行支援事業所であり生活介護事業所である両施設(わーくほーむ結、わーくほーむ江南)に依頼している。緒方義憲理事長は「毎年成人をこういう形で祝ってもらいありがたい。利用者さんの大きな楽しみの一つになっています」と話した。(K)

焼きあがったパウンドケーキにブランデーを塗る利用者さん
成人を迎えた2人(前列中央)を囲み記念写真

あの町この店

伝統のパリの味をご家庭に
ファッション・喫茶
八木橋百貨店B1 TEL523-1111

100年以上の歴史を持つフランスの高級食品メーカー、ファッション。八木橋百貨店地下、シックでスタイリッシュなたたずまいのこの店は、平成7年にオープンし、平成17年に喫茶カウンター、グロスアリーを備えた本格的なショップにリニューアルした。
ファッションと言えば紅茶! 最高級茶葉のゴールデンチップ(芯芽)を使ったダージリンはもちろん、ゴールド缶のフレーバーティーの多さも魅力的。ファッションのフレーバーの原点と言えるアップルティー、アールグレイを始め、フランスならではの香り付けが特徴だ。
また、紅茶だけでなくコーヒーも、深い味わいと豊かな香りの逸品。店内には、紅茶とジャムなどのギフトセット、ジュースやアイスなども多く取り扱っている。喫茶カウンターでは、ファッションのドリンクなどを気軽に飲み、常連さんも多い。世界の美食のトップブランドの商品を、確かめながら選べるこのお店。美しいものに囲まれたカウンターで、お買物の疲れをホッと癒してみても。(Y)

新商品紹介

地粉食パン新発売!

くまがや小麦の会地粉パンに新しく食パンが仲間入りしました!
きめ細かくて香りの良いリッチな山型食パンです。
名付けてビッグベアーフレッド! (BBB25)
イベント出店他、農林公園(週2回)みちの駅めま(週末のみ)
八木橋B1(不定期)でも販売します。ぜひお召し上がりください。(R)

熊商と小麦の会の共同開発商品

コパトナサフレ あつべえ 灼熱のカレーパン
熊谷駅コンコースで実施される熊商販売実習やくまなびやて小麦の会とコラボ。担当の小関先生は生徒の思いを育てる為、奮闘。只今「コパトナサフレ」「あつべえ灼熱のカレーパン」を開発中。どうぞ期待!

イベント出店予定

3月24日(日) 第23回熊谷さくらマラソン大会 熊谷さくら運動公園陸上競技場
3月30日(月)~4月7日(日) 第14回全国高等学校ラグビーフットボール選抜大会 熊谷スポーツ文化公園熊谷ラグビー場
4月27日(土) 友山まつり 根岸家長屋門
5月18日(土) NPO法人くまがや小麦の会定例総会 於: 筍亭
6月15日(土) 第5回こうなんホテル祭り 熊谷市江南総合文化会館ビピア駐車場
9月15日(日) 日帰りバスツアー 夕留なだ万&劇団四季ライオンキング観劇

「小麦の会」会員募集!

■お申込は 電話: 048-521-0026 FAX: 048-521-7900
賛助会員年会費: 10,000円
一般会員年会費: 1,000円